

平成 29 年度 アスリートパスウェイの戦略的支援事業 フェンシング競技

男子サーブル フランス・イギリス遠征 報告

1. 派遣期間 平成 29 年 10 月 19 日（木）～平成 29 年 10 月 31 日（火） 12 泊 14 日

2. 派遣目的 フランス・パリ

練習先 : Cercle d'Esgrime

イギリス・ロンドン

大会 : GLL Camden International Cadet Sabre Tournament（個人戦・団体戦）

* 大会成績については別紙参照



3. 派遣内容

平成 29 年度「アスリートパスウェイの戦略的支援事業（ナショナルタレントハブの整備）」では、第 2 回目となる男子サーブルの海外派遣を実施しました。本事業は 6 名の男子サーブル選手が認定選手として国内で練習していますが、第 10 回練習会で海外選抜合宿を行い、4 名の選手を海外選抜として派遣しました。

10 月 20 日～26 日までの 1 週間フランス・パリのクラブ（Cercle d'Esgrime）で合宿を行い、遠征の最終日 2 日間はイギリス・ロンドンで行われるヨーロッパカデサーキット・ロンドン大会（GLL Camden International Cadet Sabre Tournament）へ出場しました。

今回キャンプ地となったクラブへは初めての派遣で、世界ジュニア選手権メダリストを輩出しているクラブでの練習となりました。基本的な基礎技術の習得に加え、思考力・判断力・分析力等を養う為のトレーニングを取り入れた練習で、楽しみながら頭を使うことを学んできました。また、ファイティングを通してジュニア・カデ1層の欧州選手のスピードやパワー、技術力を経験できた事はロンドン大会へ向けよいイメージ作りができました。



ロンドン大会への派遣は3年連続となりました。本事業では昨年度に引き続き日本フェンシング協会のヨーロッパカデサーキットにおける個人の最高成績である5位入賞を果たしました。国際大会経験の少ない選手もトーナメントへ進出するなど、技量の成長がみられる結果となりました。また団体戦では、本協会初めとなる2位で過去最高成績をおさめました。決勝戦は大会のホーム、イギリスチームとの対戦となり完全アウェイの中44対44まで追い詰めましたが、1本勝負で勝ちきれず悔しい結果となりました。準優勝ではありましたが、日々の練習やアジアサーキットで優勝したことを常に意識して過ごす事によって選手達は自信もつき、ベストパフォーマンスで試合に臨む事が出来た結果だと思います。

国内外にかかわらず、常にベストな状態で試合に取り組める準備やその方法をこれからも練習会で習得出来るよう、継続的に取り組んでいきます。

【大会成績】

イギリス・ロンドン大会（ヨーロッパカデサーキット）

大会名：『GLL Camden International Cadet Sabre Tournament』

会場：Copper Box Arena , Queen Elizabeth Olympic Park

日程：10月28日（土）個人戦、29日（日）団体戦

出場者数：102名

参加国：日本・イギリス・ベルギー・フランス・カナダ・スペイン・ハンガリー・イタリア等 18ヶ国

最終成績：

（個人戦） 5位 加藤響
10位 小久保真旺
31位 坪颯登
62位 石井豪

（団体戦） 16チーム出場
2位 JAPAN1（加藤、小久保、坪、石井）



以上